

【事業計画】

平成 23・24 年度の事業計画

総括

母校も4年制大学として順調に5年目を迎えた。大学卒会員の誕生という新しい時代に合わせた事業の展開及び会員相互の親睦、組織結束力の強化により本学友会を益々発展させたい。また、母校の更なる発展のため側面から支援したい。以下、常置委員会が行う事業以外について総括する。

(1) 支部活動の支援と連携について

会員相互の親睦・親交を積極的にはかって頂くため、定期的な支部総会の開催を要請すると共に、出席要請のあった支部には会長及び本部役員が出席するよう努めたい。

(2) 会財政の健全化について

学友だより、会員名簿について検討を行う。同時に、ホームページによる情報提供内容についても検討を行いたい。

委員会計画

(1) 庶務委員会

理事会・委員会等会議の開催、学友だよりの発送、ホームページの定期な更新および内容の充実を図り会員相互の連携を強化する。

名簿委員会と連携して会員情報管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行う。また、支部総会および同窓会開催時には、要望に応じて会員宛名シールの提供を行い支部・同窓会活動を積極的に支援する。

(2) 編集委員会

「学友だより」を例年通り年4回発行し、会員との情報の連携をより一層深めたい。内容に関しては例年通りとしたい。なお、各号の頁数は10頁前後を目指したい。印刷経費を工夫して「学友だより」のカラー化を検討する。

(3) 企画委員会

企画委員会では本年度も例年の通り、以下の二事業を実施する。

就職問題に関する懇談会

臨床実習実施前に本校集中講義室に於いて最終学年の学生を対象に懇談会の開催を準備する。

学園祭における「学友会何でも相談コーナー」の開設

学園祭(大瑠璃祭)開催日に「学友会何でも相談コーナー」を設け在校生の各種相談に応じると共に、学友会員との親睦を図る。

またオープンキャンパスに訪れた入学希望者への対応を強化する。

(4) 名簿委員会

平成23年度は名簿の発行は行わないが、会員からの変更項目等の連絡に従って名簿データの管理業務を行う。また、「個人情報保護に関する会員名簿取扱規定」を遵守したい。

平成24年度は名簿発行の年にあたるため、11月上旬を目指して「2012年版学友会会員名簿」を有償にて発行したい。

(5) 表彰委員会

2013年度学友会総会においての、名誉会員の推戴、表彰規定にもとづく表彰者、並びに感謝状贈呈者の選考を行いたい。

以上